

LS研究委員会 2011年度短期分科会 研究テーマ概要

各研究テーマの研究内容・参加者の参加条件などご確認の上、お申込みください。

No.1	「東日本大震災を教訓としたBCPの検証と今後の対策」	
研究内容・研究方針 (背景・現状の課題、 研究目標・方向性)	東日本大震災を受けて、会員企業においてBCPへの取組みが見直されている。本分科会では当初策定されていたBCPの有効性、ITの事業継続に対する影響度、ITの災害対策における有効性を総括し課題を見出すとともに、今後見直すべきポイントについてまとめる。	
参加条件	対象部門 ・クラス	情報システム部門 / 経営企画部門 / IT企画部門の課長クラス以上
	前提スキル ・経験	BCP策定に携わっている方

No.2	「クライアント仮想化の導入と構築」	
研究内容・研究方針 (背景・現状の課題、 研究目標・方向性)	在宅勤務、事業継続の観点から、シンクライアントへのニーズが高まっている。セキュリティ対策の反面、初期導入コスト、期間が導入の障壁となっている。この課題を解決するひとつの方法としてクライアント仮想化が注目される。本分科会ではクライアント仮想化の導入効果を研究する。	
参加条件	対象部門 ・クラス	情報システム部門のリーダクラス
	前提スキル ・経験	仮想化技術の基礎知識がある方

LS研究委員会 2011年度短期分科会 研究テーマ概要

No.3 「事業戦略に貢献できるICTの活用」		
研究内容・研究方針 (背景・現状の課題、 研究目標・方向性)	事業戦略を実行する上で、ICTは不可欠であるが、戦略立案にICTは十分に考慮されていない。業務部門にICTを有効な手段と認識させ事業戦略に沿ったICT活用を提案するにはどのような事例や方策があるか。本分科会では情報システム部門が業務部門に対し、ともに事業計画を立案する方向性を研究する。	
参加条件	対象部門 ・クラス	情報化企画部門 / 情報システム部門の課長クラス以上
	前提スキル ・経験	情報化企画に携わる方

No.4 「クラウド時代におけるITガバナンスの方向性」		
研究内容・研究方針 (背景・現状の課題、 研究目標・方向性)	クラウドコンピューティングにより、ICTコスト削減、構築期間短縮などのメリットが期待されている。一方で、ITサービスの基準となるポリシーの見直し、リスク管理、監査を含めたITガバナンスが今後ますます重要になってくる。本分科会では情報システム部門として、クラウド適用に向けたITガバナンスの方向性について研究する。	
参加条件	対象部門 ・クラス	情報化企画担当部門 / 情報システム部門の課長クラス
	前提スキル ・経験	ITガバナンスの策定およびリスク管理に携わった経験のある方